

昔の道具クイズ1 **(問題)** 4階展示室「戦前の暮らし」より

千葉市^{きょうどほくぶつかん}郷土博物館の4階展示室にある昔の道具で作ったクイズです。
写真と名前とその使い方を線でおすびましょう。
この道具の説明は、4階展示室の昔の道具カードに書いてあります。

写真 名前

使い方



真空管ラジオ

この道具は炭をもやして手をあたためたり、お湯をわかしたりしました。この道具だけでは部屋はあたたまらないので、上着を着ていました。



ひばち (火鉢)

この道具は、大正14年(1925年)に始まりました。真空管があたたまるまで音が出ない欠点がありましたが、人々が社会のことを知る大切な道具でした。



氷れいぞうこ

ごはんをたいたり、お湯をわかしたりする道具です。この道具は、そこが丸くなっていて、同じように熱が伝わりごはんがおいしくたけました。



足ぶみミシン

上のだんに氷を入れ、その冷気で下のだんを冷やします。氷は毎日、氷屋というお店の人がはいたつしてくれました。電気れいぞうこが広まるまで使われていました。



はがま (羽釜)

電気で動くのではなく、ペダルを足でふむことで洋服をぬう作業をしていました。家族の着るものは、家庭で作ることが多かったようです。

昔の道具クイズ1 (答えです) 4階展示室「戦前の暮らし」より

千葉市郷土博物館きょうどはくぶつかんの4階展示室にある昔の道具で作ったクイズです。
写真と名前とその使い方を線でおすびましょう。
この道具の説明は、4階展示室の昔の道具カードに書いてあります。

写真



名前

真空管ラジオ

ひばち (火鉢)

氷れいぞうこ

足ぶみマシン

はがま (羽釜)

使い方

この道具は炭をもやして手をあたためたり、お湯をわかしたりしました。この道具だけでは部屋はあたたまらないので、上着を着ていました。

この道具は、大正14年(1925年)に始まりました。真空管があたたまるまで音が出ない欠点がありましたが、人々が社会のことを知る大切な道具でした。

ごはんをたいたり、お湯をわかしたりする道具です。この道具は、そこが丸くなっていて、同じように熱が伝わりごはんがおいしくたけました。

上のだんに氷を入れ、その冷気で下のだんを冷やします。氷は毎日、氷屋というお店の人がはいたつてくれました。電気れいぞうこが広まるまで使われていました。

電気で動くのではなく、ペダルを足でふむことで洋服をめう作業をしていました。家族の着るものは、家庭で作ることが多かったようです。